



中島 数宜 議員

Q 安心・安全に向けた取り組みは

A 町長

「安心・安全で快適に暮らせるまち」や「人と自然が調和する美しいまち」を掲げ取り組んでいる。

【Q1】 安心・安全に関する基本施策の取り組みは。

【A1】 「防災・減災対策の強化」「砂防・治山・治水の推進」「道路交通網の整備・充実」「農地の維持」等で、現状の課題を整理し、鋭意進めている。

【Q2】 危険区域内の集会所の安全対策は。

【A2】 日常的に人が居住するものではないことから、原則ハード的な防災対策をするのではなく、「警戒レベル3」の時点で施設の利用中止と、安全な地域へ早めに避難をお願いしたい。

【Q3】 防災行政無線の新たな情報伝達ツールはどのようなものか。



▲広島熊野トンネル

【A3】 町内放送と戸別受信機などの伝達方法の他に、町の公式LINEに登録すると、町内放送と同じタイミングで外出先でも情報が確認できるツールである。

【Q4】 平谷交差点を通過する交通量も安定している。横断歩道の復元はできないか。

【A4】 東広島バイパスの供用等、交差点を取り巻く交通の流れの変化も見込まれ、交通状況とともに安全性・利便性など総合的にその状況を確認していく。

Q コロナ禍以前の生活を取り戻す方策は

A 町長

筆まつりや町民体育大会など、多くのイベントの開催により賑わいが戻ることを期待する。

【Q1】 コロナワクチンの接種状況と、今後の課題は。

【A1】 高齢者の接種率は高い状況だが、若年層の接種率は、比較的低い状況となっている。今後も国の方針に沿って希望する全ての方に接種機会が確保できるよう集団接種等の実施体制を整えていく。

【Q2】 各種イベント等は、町民グラウンドの使用停止を含め5年も中止となっているが。

【A2】 今年は町民グラウンドで行われる「町民体育大会」など、多くのイベントも通常どおり開催される見込みである。適切な感染予防対策を講じながら賑わいの創設に努めていきたい。

【Q3】 生徒たちは、マスクを外す喜びと、着用を継続することの戸惑いが交差しているのではないかと。子ども達への対応は。

【A3】 体育の授業などでは十分な感染症対策を講じたうえでマスクを外してよいと指導しているが、マスク着用の児童生徒が多いのが現状である。4月以降はマスクの着用を求めないことを基本とし、マスク着用に関する差別・偏見等がないよう指導していく。



▲高校生の書道パフォーマンス



沖田 ゆかり 議員

Q 温かい給食の提供を

A 町長

早い時期に実施できるよう結論を出したい。



【Q1】 熊野町では、ランチボックスによるデリバリー給食のため、冷たいおかずが美味しくないなどの多くの声が出ています。公立小学校で温かい給食の提供が実施されていない現状こそが、最も大きな課題であると考えています。

【A1】 児童生徒、保護者から冷たいという不評をいただいている。今後、温かい給食の研究を重ねていく。

【Q2】 食育指導について、文科省より給食指導においては準備から片付けまでの一連の指導の中で、手洗い、配膳、食器の並べ方、食事マナーなどを習得する必要があるが、熊野町ではランチボックスのため、十分な指導ができていないが。

Q 役場窓口での住民サービスの向上を

A 総務部長

役場に行かなくてよい、書かなくてよいなどの取り組みを行っている。



【Q1】 町民が住民票や戸籍謄本などの写しを取得するためには、申請書を手書きで記入しなければならぬので、1度に複数の申請を行う方は、同じ内容を何度も記入することが、負担になっているとの声を伺っている。

【A1】 書かない窓口を実現するための取り組みは、税務住民課の窓口における証明書等の受付業務では、本人確認書類による本人確認後、職員がヒアリングをしながら申請書を作成し、証明書を発行する「書かない窓口」の試験的な運用を開始している。

【Q2】 回らない窓口の取り組みとして、転入出や転居などについてはどうか。

【A2】 転入出については現段階では、まだ回っていないのが現状である。

【Q3】 行かない窓口の取り組みについては。

